
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第11週
(3月9日～3月15日)

- * 2009年3月18日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2009年2月)の疾患も掲載しています。
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を
16頁に掲載しています。

平成21(2009)年3月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週		11週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	76	63	76	53	706	345	4602
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三 類	コレラ							2
	細菌性赤痢	1	4	2		10	7	38
	腸管出血性大腸菌感染症	3	2		1	8	7	159
	腸チフス			1	2	4	1	5
	パラチフス			1		1	1	2
四 類	E型肝炎	2				3		8
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2	1		3		19
	エキノкокクス症					1		6
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2		34
	デング熱		1	1		5	1	18
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							4
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア	2	1		1	8	1	15	
野兎病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1	1	1	15	9	126	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4		3	2	30	13	185
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1	1	1	11	2	39
	急性脳炎 ***	2		1		7		58
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3	1	19
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			3	4	24
	後天性免疫不全症候群	7	12	16	6	109	14	285
	ジアルジア症		2	2	1	10		13
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	2	6	6	44	8	145
	破傷風					1		12
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	19
	風しん				1	2	6	42
麻しん	2	2	1	2	23	13	167	
2009/3/18集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 53件 肺結核33件、その他の結核9件、肺結核及びその他の結核1件、無症状病原体保有者9件、疑似症患者1件で、推定感染地はすべて国内。年齢は、20歳代5件、30歳代8件、40歳代6件、50歳代9件、60歳代8件、70歳代8件、80歳代8件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者で、血清型・毒素型はO157(VT2)、年齢は20歳代であった。

腸チフス 2件 推定感染地はフィリピン1件、インド1件、推定感染経路はともに飲食物による経口感染であった。

〈四類感染症〉

マラリア 1件 三日熱マラリアで、推定感染地はインドであった。

レジオネラ症 1件 肺炎型の70歳男性。推定感染地は神奈川県で、温泉との関連が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管アメーバ症2件で、推定感染地はともに国内、感染経路はともに不明であった。うち1件の死亡が報告されており、60歳代で、経過等の詳細は不明。

ウイルス性肝炎 1件 C型で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 6件 無症候キャリア4件、AIDS 1件、その他1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触5件(同性間性的接触4件、異性間性的接触1件)、不明1件であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はマラウイ(アフリカ大陸南東部)で、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

梅毒 6件 早期顕症Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候4件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間5件、異性間1件)であった。

風しん 1件 検査診断例の30歳代男性。風しん含有ワクチン接種歴は無かった。

麻しん 2件 麻しん(臨床診断例)2件で、年齢は10歳未満2件(うち5歳未満1件)、麻しん含有ワクチン接種歴はともに1回であった。

※第10週該当分として、五類 梅毒1件(早期顕症梅毒Ⅰ期、国内感染、異性間性的接触)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年11週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		8週	9週	10週	11週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	9	13	8	5	0.03	145	150
	咽頭結膜熱	33	30	27	32	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	274	317	372	347	2.39		
	感染性胃腸炎	1,040	1,064	1,102	1,075	7.41		
	水痘	183	185	181	206	1.42		
	手足口病	6	6	8	11	0.08		
	伝染性紅斑	15	16	20	26	0.18		
	突発性発しん	80	82	64	71	0.49		
	百日咳	6	4	2	5	0.03		
	ヘルパンギーナ	2	3	1	6	0.04		
	流行性耳下腺炎	64	79	73	86	0.59		
	不明発しん症(注1)	8	7	10	6	0.04		
MCLS(川崎病)(注1)	1	1	1	0	0.00			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	2,183	2,585	3,328	4,076	14.30	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	3	2	0	0	0.00	38	39
	流行性角結膜炎	16	11	10	10	0.26		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	1	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	5	4	2	11	0.48		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	3	3	0	0.00		
2009/3/18集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

・インフルエンザの定点当たり報告数は、3週連続して増加した。都全体では引き続き注意報レベルにあり、今後の推移に注意が必要である。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は4か所、注意報レベルにある地域は15か所であった。

・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

・ロタウイルス:1名。

中野区保健所管内定点医療機関

・RSウイルス陽性の患児は、生後2か月、生下時体重2500gと若干リスク要因が高かったため、RSV抗原精密測定を行ない、経過観察を密に実施したが、幸い下気道症状の悪化は認められなかった。

・4歳児の咽頭結膜熱は、典型的な咽頭所見および結膜充血あり。アデノウイルス陽性。

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			8	1					
～11か月	2	1	1	43	8	1	2	30		2
1歳	1	5	10	144	37	1	2	37		
2歳		3	12	103	40	2	4	3		1
3歳		3	30	84	29	1	1		1	1
4歳		7	38	92	30	3	5			
5歳		4	56	97	27		3			1
6歳		3	40	99	17	1	5			1
7歳		2	47	76	5	1	2			
8歳			30	67	6	1				
9歳		2	28	42	1		2	1		
10～14歳		1	35	88	4					
15～19歳			2	24						
20～29歳		1	18	108	1				4	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	5	32	347	1075	206	11	26	71	5	6
先週比	-3	5	-25	-27	25	3	6	7	3	5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		8		
～11か月				12		
1歳	2	2		68		
2歳	7	2		85		1
3歳	5			118		
4歳	13			264		
5歳	19			295		
6歳	6			399		
7歳	12			490		
8歳	5			493		
9歳	6			344		2
10～14歳	10			1055		
15～19歳	1			93		1
20～29歳				100		1
30～39歳				113		2
40～49歳				98		1
50～59歳				18		
60～69歳				16		2
70～79歳				6		
80歳以上				1		
合計	86	6		4076		10
先週比	13	-4	-1	748		

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年11週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		1
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳	1	
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				8						
中央区		2	5	3	5	1		1		
みなと	1	1	2	48	3		1	7		
新宿区		4	10	39	5		2	3		
文京			4	4	2	1	1			
台東			8	27	7		1	3		
墨田区			5	26	5			2	1	
江東区			15	50	7	2	1	2		
品川区		3	12	62	4		3	3		
目黒区		1		8	3		2			
大田区	1	8	15	64	11	4	9	7	3	
世田谷		2	19	36	2			1		
渋谷区			2	27	3					
中野区	1	1	3	59	2			4		
杉並			9	53	8			1		
池袋			1	2	5			1		
北区			2	34	3			3		
荒川区			5	16	13	1		2		
板橋区			3	30	10			1		
練馬区			1	32	12		1			
足立			3	32	1	1		2		
葛飾区			9	32	14			1		2
江戸川		8	59	39	4			8		1
八王子市		1	59	94	27	1		2	1	
西多摩			4	36	2					
南多摩	2		16	23	5			1		
町田			36	49	25		3	7		1
多摩立川			7	20	6			3		
多摩府中			3	31	5		2	2		
多摩小平		1	30	91	6			4		2
島しょ					1					
東京都合計	5	32	347	1,075	206	11	26	71	5	6

全数把握対象疾患
(風しん、麻疹)報告数

【保健所別】2009年11週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				24		
中央区	1			17		
みなと	1			80		
新宿区	2			94		
文京	1	1		39		1
台東	1			16		
墨田区	1			21		
江東区	10			117		1
品川区	3			158		
目黒区				29		1
大田区	2			106		
世田谷	4			256		
渋谷区	3			46		
中野区	3			122		
杉並	2			238		1
池袋				50		
北区				129		
荒川区				41		
板橋区				124		
練馬区	3			188		
足立	1			107		
葛飾区	1			106		
江戸川	2			79		1
八王子市	28	2		296		
西多摩	1			350		1
南多摩	1			242		
町田	4	3		195		
多摩立川	2			133		
多摩府中	4			322		1
多摩小平	5			334		3
島しょ				17		

東京都合計	86	6	-	4,076	-	10
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻疹
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		1
目黒区		
大田区	1	1
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	2
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				2.00						
中央区		0.67	1.67	1.00	1.67	0.33		0.33		
みなと	0.17	0.17	0.33	8.00	0.50		0.17	1.17		
新宿区		0.67	1.67	6.50	0.83		0.33	0.50		
文京			1.33	1.33	0.67	0.33	0.33			
台東			2.67	9.00	2.33		0.33	1.00		
墨田区			1.67	8.67	1.67			0.67	0.33	
江東区			3.75	12.50	1.75	0.50	0.25	0.50		
品川区		0.50	2.00	10.33	0.67		0.50	0.50		
目黒区		0.33		2.67	1.00		0.67			
大田区	0.11	0.89	1.67	7.11	1.22	0.44	1.00	0.78	0.33	
世田谷		0.25	2.38	4.50	0.25			0.13		
渋谷区			0.50	6.75	0.75					
中野区	0.17	0.17	0.50	9.83	0.33			0.67		
杉並			1.50	8.83	1.33			0.17		
池袋			0.50	1.00	2.50			0.50		
北区			0.50	8.50	0.75			0.75		
荒川区			2.50	8.00	6.50	0.50		1.00		
板橋区			0.50	5.00	1.67			0.17		
練馬区			0.20	6.40	2.40		0.20			
足立			0.75	8.00	0.25	0.25		0.50		
葛飾区			3.00	10.67	4.67			0.33		0.67
江戸川		1.60	11.80	7.80	0.80			1.60		0.20
八王子市		0.25	14.75	23.50	6.75	0.25		0.50	0.25	
西多摩										
南多摩	0.50		4.00	5.75	1.25			0.25		
町田			9.00	12.25	6.25		0.75	1.75		0.25
多摩立川			1.17	3.33	1.00			0.50		
多摩府中			0.30	3.10	0.50		0.20	0.20		
多摩小平		0.17	5.00	15.17	1.00			0.67		0.33
島しょ					1.00					

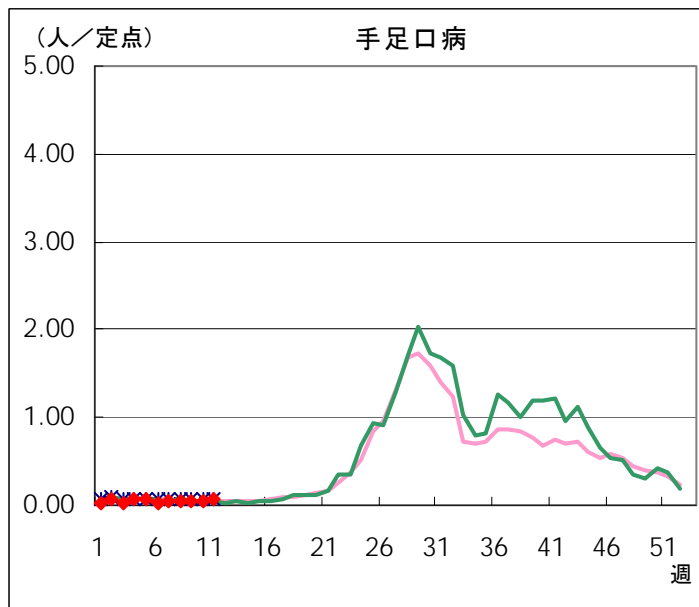
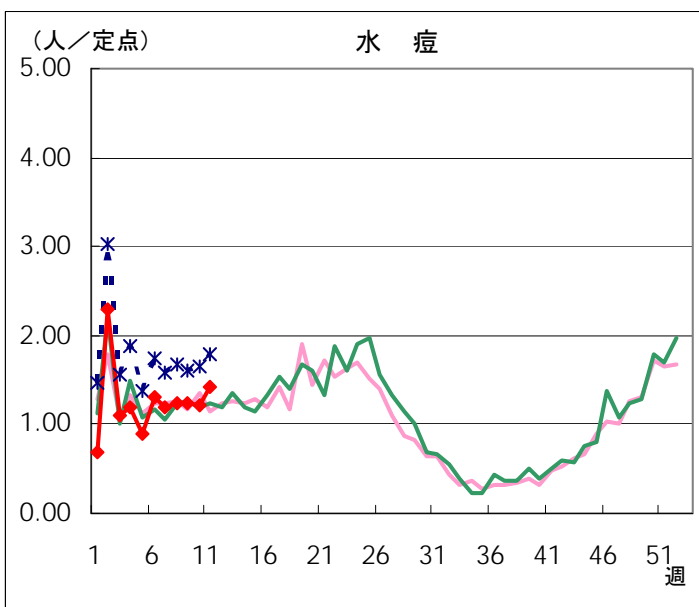
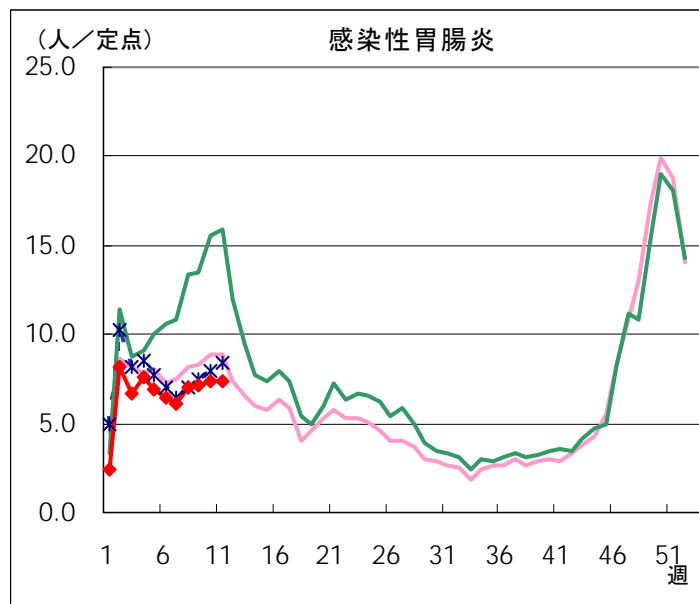
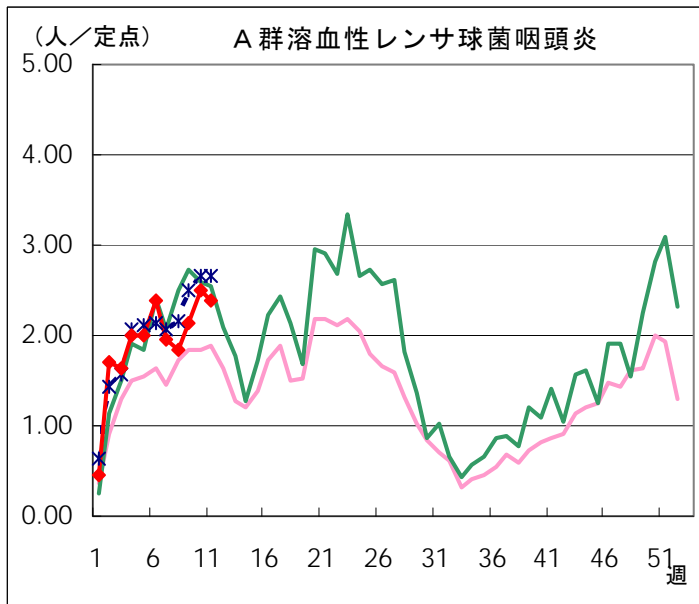
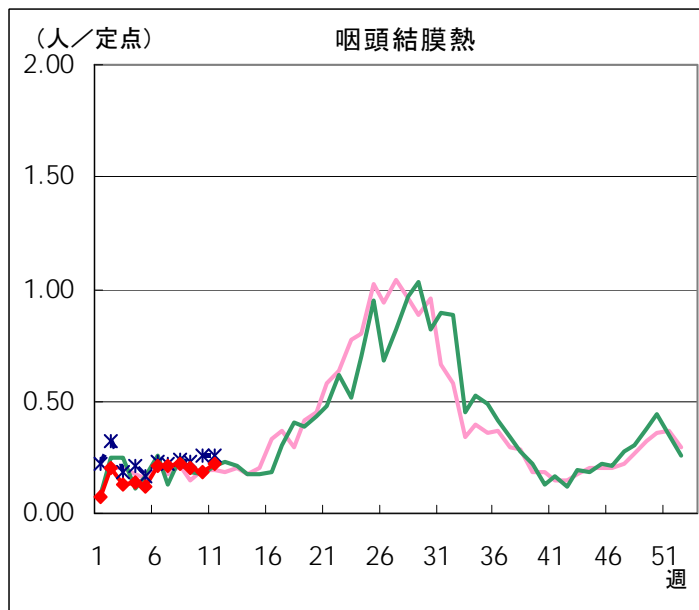
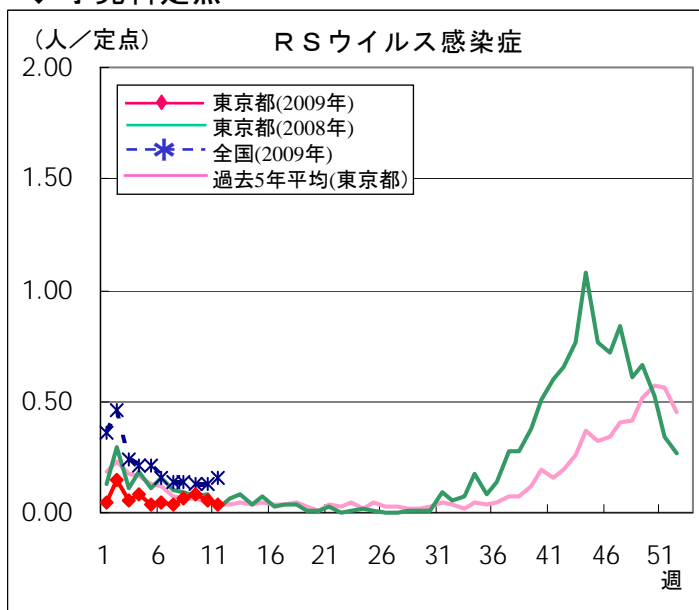
東京都	0.03	0.22	2.39	7.41	1.42	0.08	0.18	0.49	0.03	0.04
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

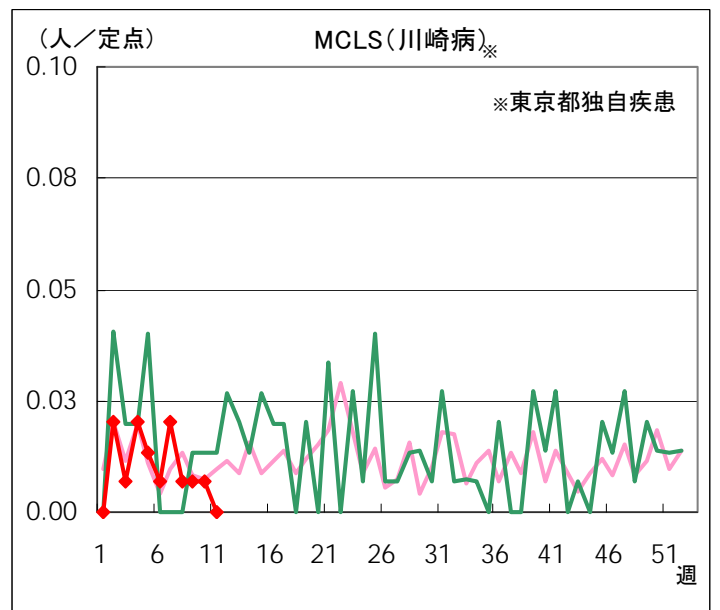
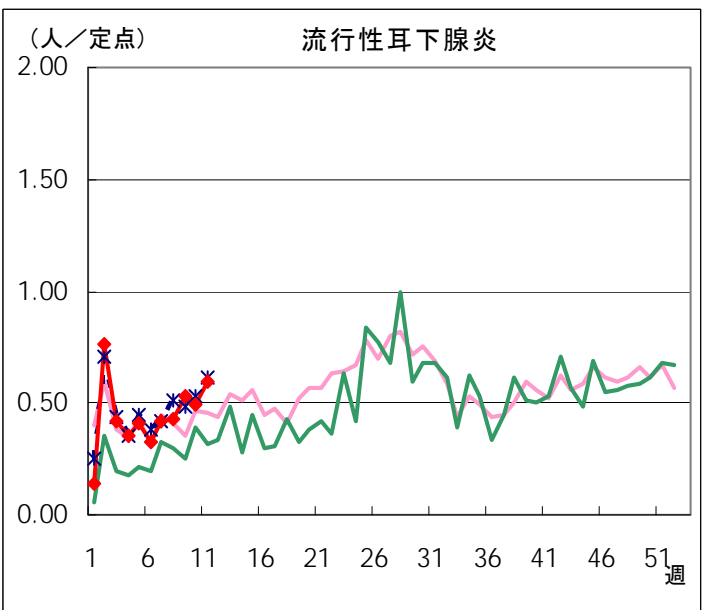
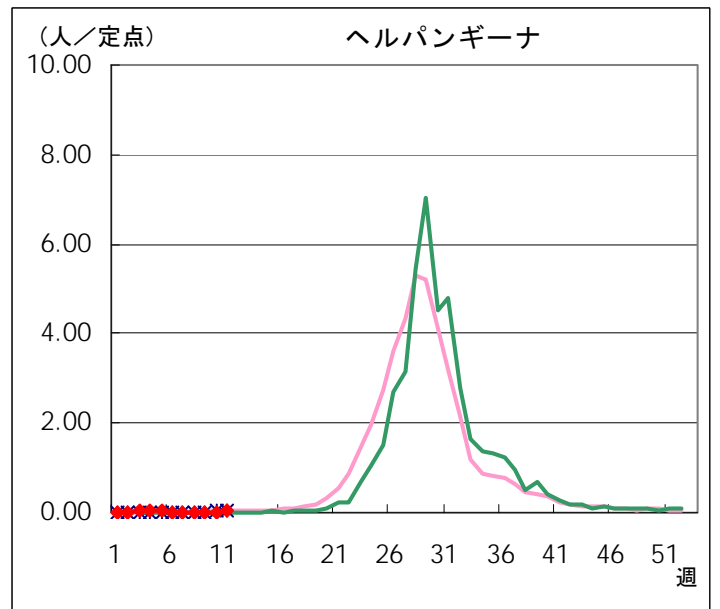
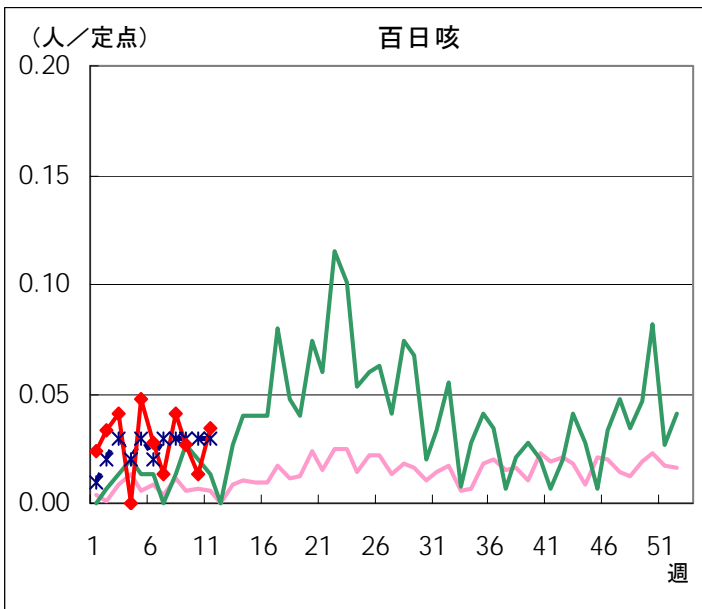
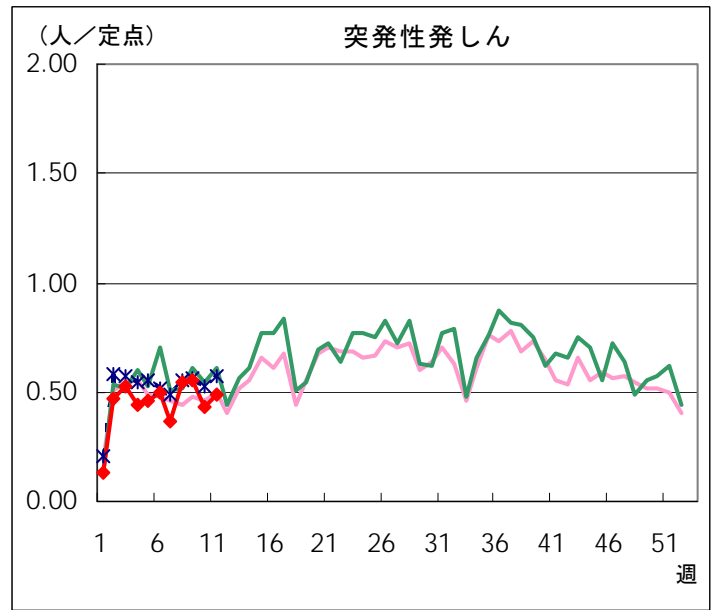
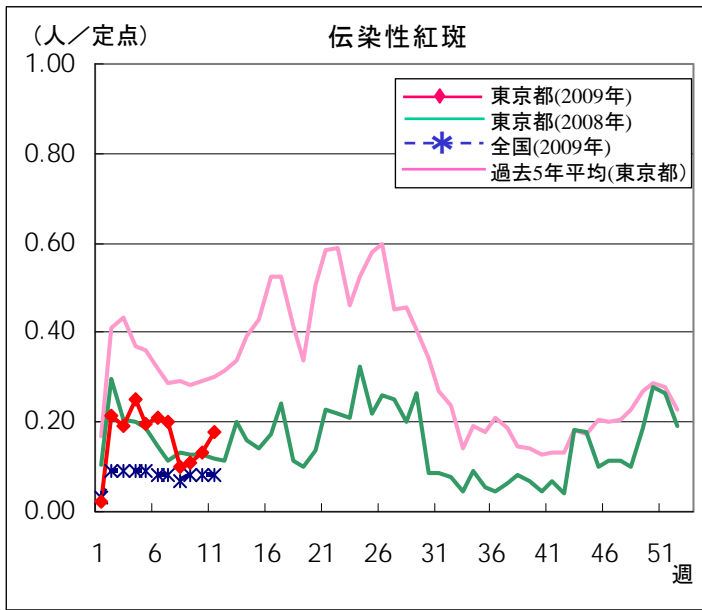
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				4.80		
中央区	0.33			4.25		
みなと	0.17			10.00		
新宿区	0.33			10.44		
文京	0.33	0.33		7.80		1.00
台東	0.33			3.20		
墨田区	0.33			3.50		
江東区	2.50			13.00		1.00
品川区	0.50			15.80		
目黒区				4.83		1.00
大田区	0.22			6.63		
世田谷	0.50			17.07		
渋谷区	0.75			7.67		
中野区	0.50			13.56		
杉並	0.33			19.83		1.00
池袋				8.33		
北区				16.13		
荒川区				10.25		
板橋区				10.33		
練馬区	0.60			15.67		
足立	0.25			9.73		
葛飾区	0.33			13.25		
江戸川	0.40			6.58		0.50
八王子市	7.00	0.50		29.60		
西多摩				38.89		
南多摩	0.25			26.89		
町田	1.00	0.75		21.67		
多摩立川	0.33			10.23		
多摩府中	0.40			15.33		0.50
多摩小平	0.83			23.86		1.50
島しょ				8.50		

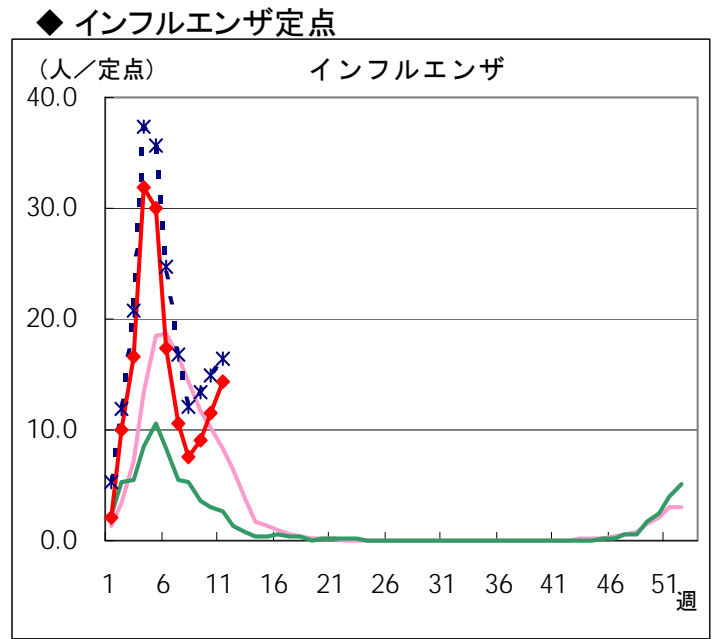
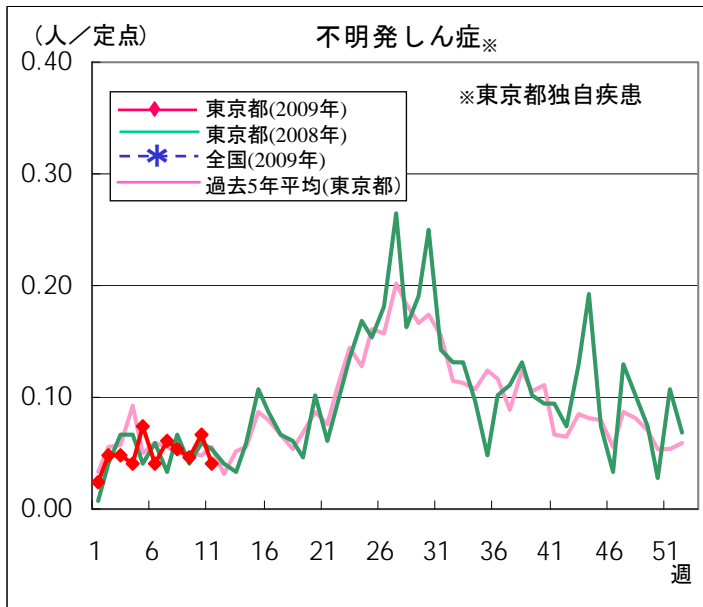
東京都	0.59	0.04	-	14.30	-	0.26
-----	------	------	---	-------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年11週現在

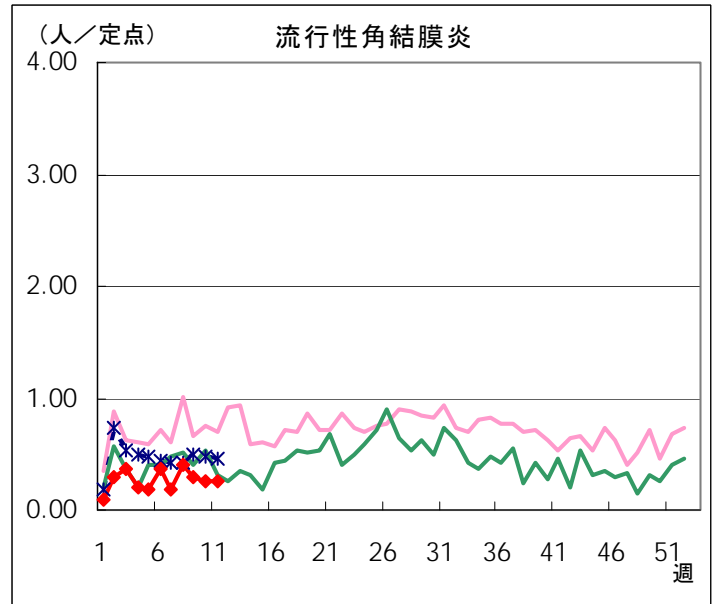
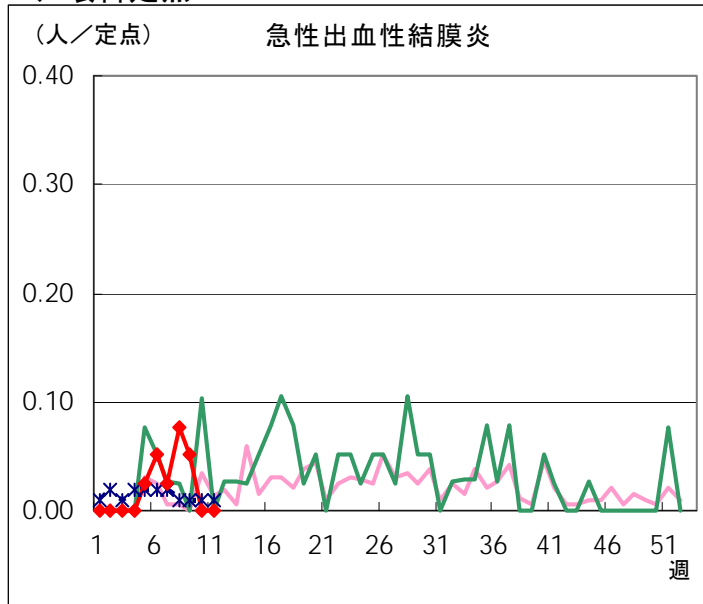
◆ 小児科定点



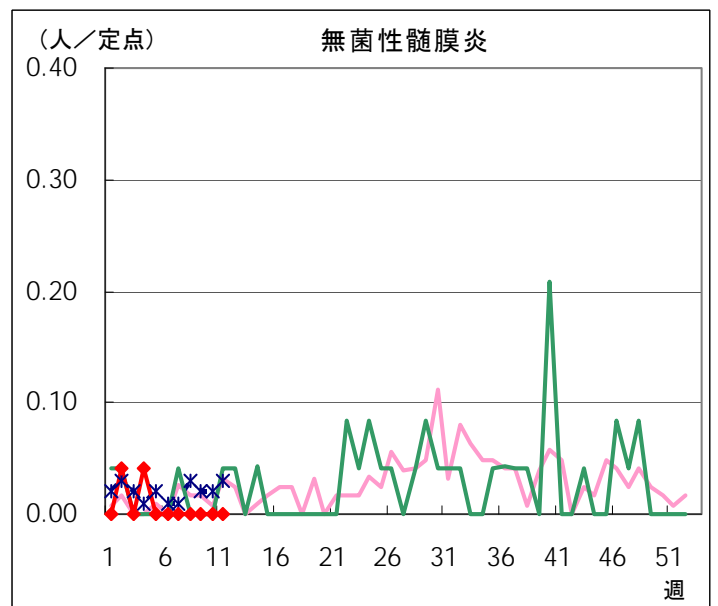
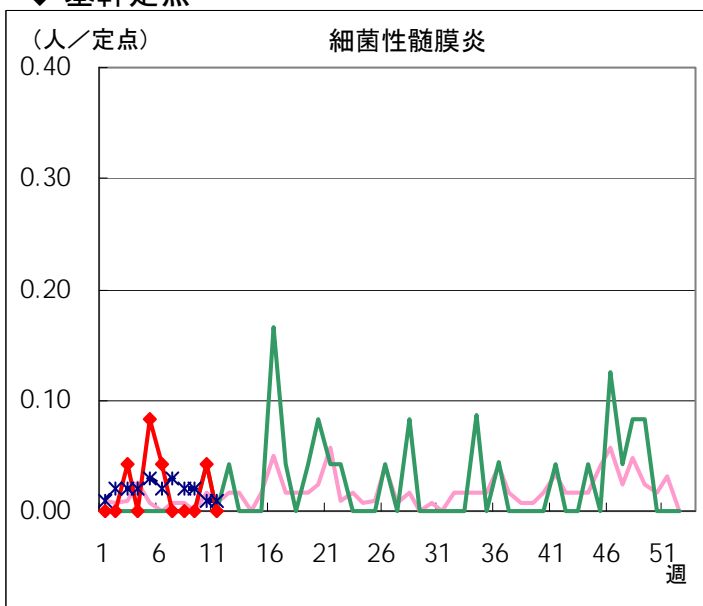


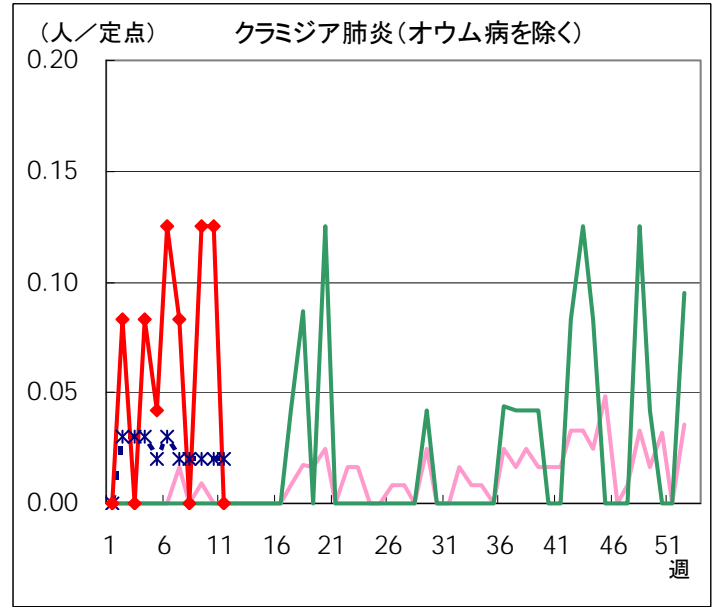
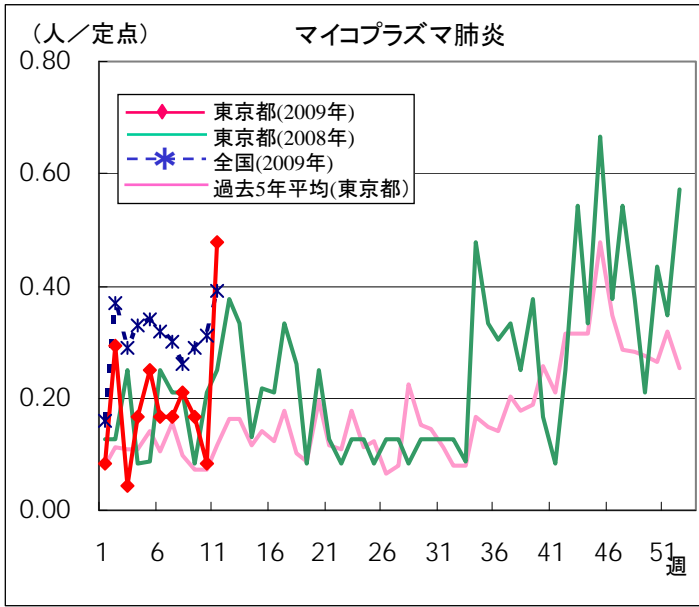


◆ 眼科定点

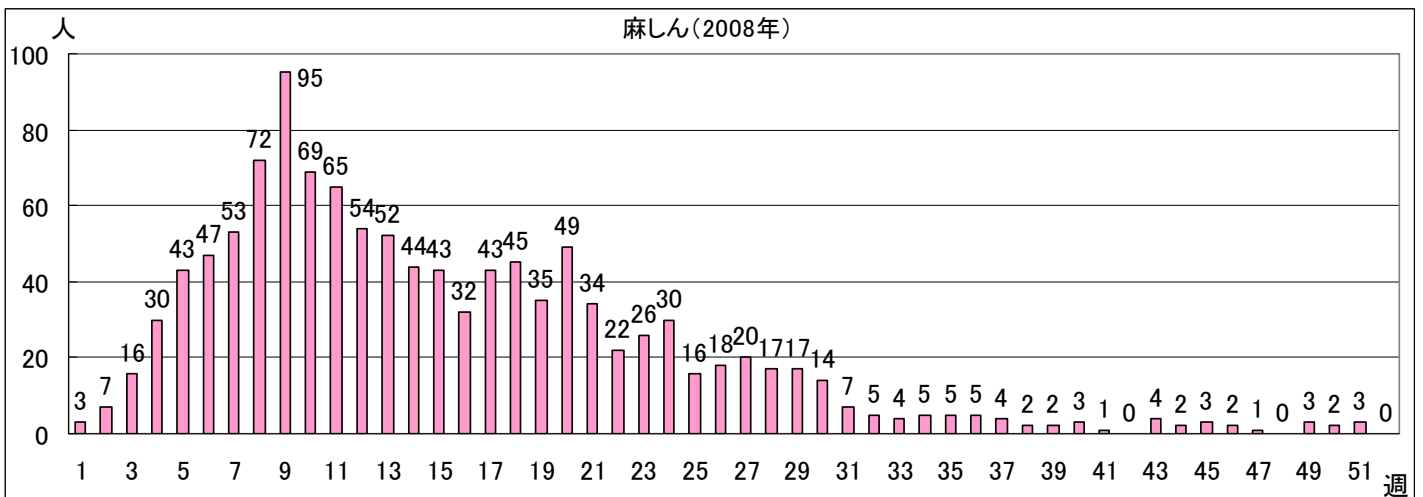
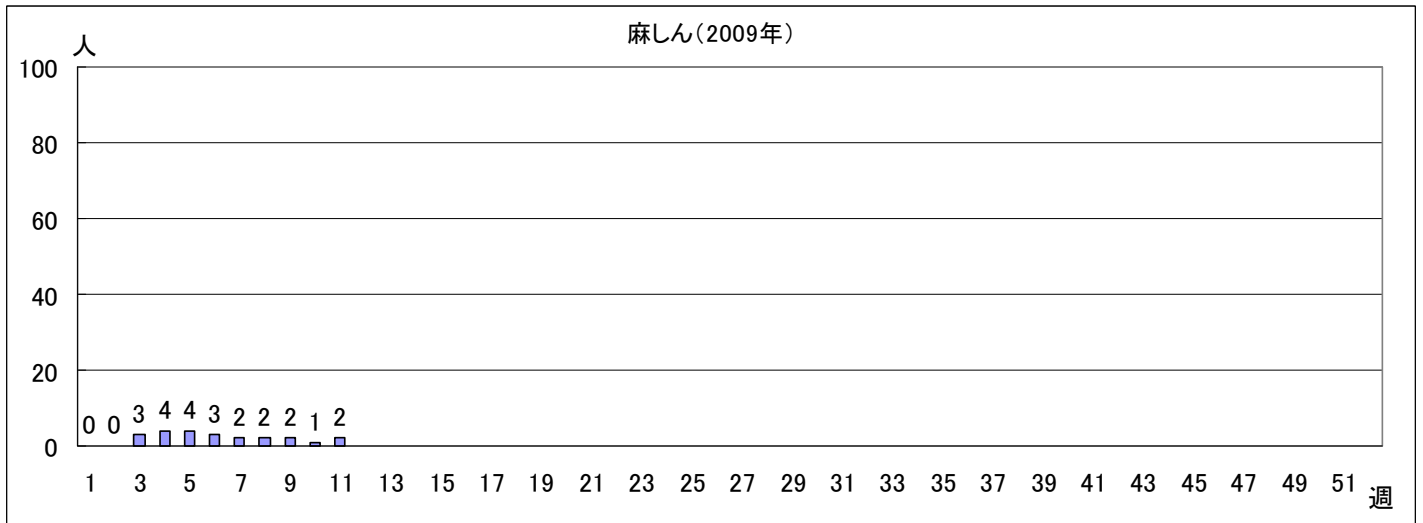


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年11週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント	
	A	B		
みなと	1	7	B型:7名(0歳、3歳、7歳2名、12歳3名)、A型:1名	
		1		
	3	23		
新宿区		5		
	2	11		
		10		
		19		
台東	1	4	8歳児1名:A型、他は全てB型です。	
	1	7		
	1	2		
江東	1	8		
	2	7		
	1	27		
	1	2		
	6	21		
品川区		8		
	2	36		
		10		
		3		
	1			
目黒区		6	40歳のみA型、他はB型。	
		1		
	1	9		
	2			
	10			
大田区	3	9		
		10		
	1	3		
		1		
		11		
	1	2		7歳児2名:A型・B型、20代B型。
	1	4		
	3	15		
世田谷区	3		患者40名	
		7		
	1	13	患者25名	
	3	10		
	2		患者9名	
		40	患者49名	
	1	3		
	1			
渋谷区		1		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
中野区	4	22	
		6	
	2	30	
	5	10	
	2	7	
	1	3	
	3	3	
		3	
	19	B型19名、型不明2名のうち1名はA、B型とも陽性でした。	
池袋	1	2	
	2	6	
		2	
北区	1	4	
	5	14	
			近隣の小学校を起点として、インフルエンザB型が大流行しています。 (患者57名) B型インフルエンザが局地的にあるようです。(患者5名)
足立	3		B型インフルエンザ急増、患者30名中A型は3名。
	7	21	不明1名
西多摩		1	
	2	157	
	1		
	1	26	A:1名、B:26名(7歳児:AおよびB陽性)、8歳児:3/9 38.7℃・頭痛・うわごとあり、 リレンザ処方し帰宅、3/15ごろまで発熱あり。3/16受診、症状なし。
南多摩		17	患者30名
町田	1	2	
	3	11	
多摩立川	1	6	A型:9歳 B型:6歳/7歳/28歳/30歳/47歳/67歳 臨床症状:31歳
		6	6名B型(内12歳、8歳予防接種済)
		7	
多摩府中	1	9	8歳児1名A型、他は全てB型。
多摩小平	1	3	
	2	5	
		34	
	5	41	
	4	92	
		14	
	2	8	
	1	3	
八王子市	2	41	
	4	40	
	1	3	
	1	10	
	9	74	

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/9	溶連菌感染症	6	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	血清型
1/16	インフルエンザ	3	菌株(咽頭)	MRSA (コアグララーゼⅡ型)	
1/30	溶連菌感染症	5	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-4型)	
2/4	溶連菌感染症	4	菌株(咽頭)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	
2/14	百日咳疑い	8	鼻汁拭い液	<i>H.influenzae</i>	分離同定
2/27	RSウイルス感染症	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
2/27	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス サイトメガロウイルス	
2/27	不明熱/アデノ迅速キット(+)	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
2/28	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
2/28	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス アデノウイルス	
2/28	百日咳	6	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	
3/2	ウイルス性発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
3/2	感染性胃腸炎	22	糞便	アデノウイルス40/41型	
3/2	咽頭炎、下痢	7M	糞便	アデノウイルス ライノウイルス サポウイルス	遺伝子
3/2	感染性胃腸炎	1	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/2	脊髄炎	75	尿	ムンプスウイルス	遺伝子
3/3	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
3/3	アデノ咽頭結膜熱	4	鼻汁	ライノウイルス	抗原 遺伝子
3/3	感染性胃腸炎	8M	糞便	A群ロタウイルス エンテロウイルス	
3/5	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
3/5	急性気管支炎、百日咳	3	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
3/5	感染性胃腸炎	2	糞便	A群ロタウイルス	抗原
3/5	不明発しん症	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
3/5	感染性胃腸炎	9M	糞便	エンテロウイルス	
3/5	感染性腸炎	9M	糞便	エロモナス	分離同定
3/6	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
3/6	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
10週	3	4	13
今シーズン累計	211	98	42

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

3/18現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	22	22
学級閉鎖等	19	19

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週
ウイルス	アデノウイルス	3	7	12	3	4	11	4	7
	ライノウイルス	2	2	6	4	2	2	1	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71				1				
	その他のエンテロウイルス	6	4	4			2	1	5
	単純ヘルペスウイルス	2		3		1	1	3	
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	2	4	7	2	2	5	4
	EBウイルス	3	2	1			2	2	
	サイトメガロウイルス	2	4		3		1	1	1
	ムンプスウイルス	3	1	2	2		1	2	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19		1						
	RSウイルス		1	1	1	1	1		
	ノロウイルス	6	2	3	1	1	5		
	ロタウイルス	1			2			1	3
	インフルエンザウイルスAH1	13	29	20	59	28	12	5	3
	インフルエンザウイルスAH3	7	9	9	22	9	7		4
	インフルエンザウイルスB			2	5	4	5	6	13
デングウイルス(抗体を含む)							1		
その他のウイルス						1	1	1	
細菌	カンピロバクター						1		
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌			1					
	溶血性レンサ球菌			1	1				3
	その他の細菌			2	1	1			3
その他の病原体		1	1	1					

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年3週～2009年10週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他		
搬入検体数	287	40	24	68	36	12	4	5	1	6	2	36	14	2			127		
ウ イ ル ス	アデノウイルス	16	7	5	3		3	3		2		1	1				10		
	ライノウイルス	2	8	3	1		3				1	1	1				5		
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																	1	
	その他のエンテロウイルス	2	1	2	5				1	4		1		1				5	
	単純ヘルペスウイルス	1										3						6	
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																		
	ヘルペスウイルス6/7		1		1					3		15	1					8	
	EBウイルス	1									1	1	2					5	
	サイトメガロウイルス			1	1								9					1	
	ムンプスウイルス					1								9				3	
	麻しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19											1							
	RSウイルス	1	1	3															
	ノロウイルス				16													2	
	ロタウイルス			3	4														
インフルエンザウイルスAH1	167	1															1		
インフルエンザウイルスAH3	65	1	1																
インフルエンザウイルスB	35																		
デングウイルス (抗体を含む)																	1		
その他のウイルス		1		2															
細 菌	カンピロバクター				1														
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																1		
	溶血性レンサ球菌							4									1		
その他の細菌	1	4		1													1		
その他の病原体		1	1														1		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2009年2月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	89	1.62	55	55
		女	97	1.76		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	43	0.78		
		女	23	0.42		
	尖圭コンジローマ	男	34	0.62		
		女	5	0.09		
	淋菌感染症	男	51	0.93		
		女	19	0.35		
	膣トリコモナス症*	男	1	0.02		
		女	9	0.16		
梅毒様疾患	男	3	0.05			
	女	2	0.04			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	83	3.46	24	24
		女	35	1.46		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	18	0.75		
		女	20	0.83		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	1	0.04		
2009/3/10						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2009年2月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	2		1	2		
20～24歳	14	3	2	10		1
25～29歳	24	10	8	13		
30～34歳	19	3	8	6		
35～39歳	10	9	7	7		1
40～44歳	7	7	3	7	1	
45～49歳	7	4	1	1		1
50～54歳	4	1	3	1		
55～59歳	1	3	1	4		
60～64歳	1					
65～69歳		3				
70歳～						
合計	89	43	34	51	1	3
先月数	100	35	43	74		5
増減数	-11	8	-9	-23	1	-2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	9	1	1	3		
20～24歳	41	4	1	8	2	
25～29歳	26	8	3	5	1	1
30～34歳	10	9		1	1	
35～39歳	10	1		1	2	1
40～44歳	1			1	1	
45～49歳						
50～54歳					2	
55～59歳						
60～64歳						
65～69歳						
70歳～						
合計	97	23	5	19	9	2
先月数	85	31	18	11	16	1
増減数	12	-8	-13	8	-7	1

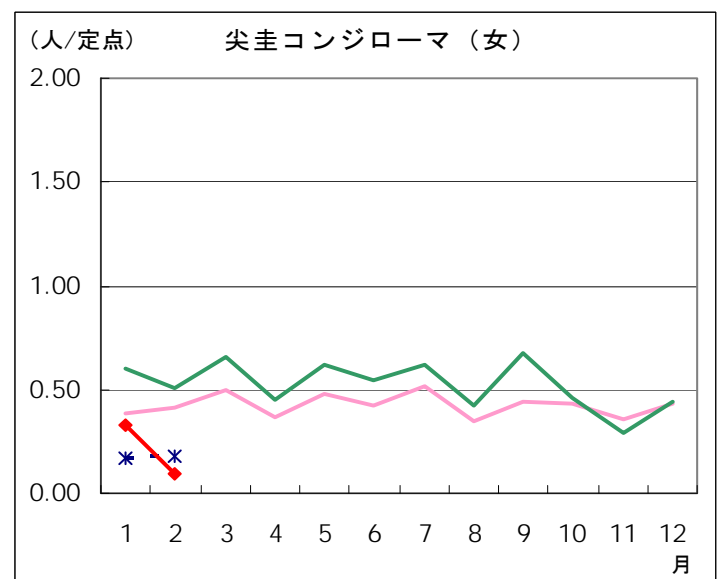
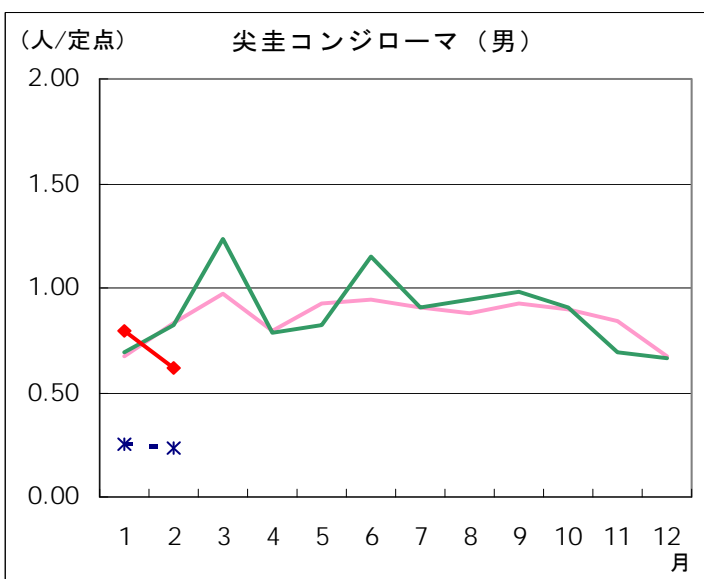
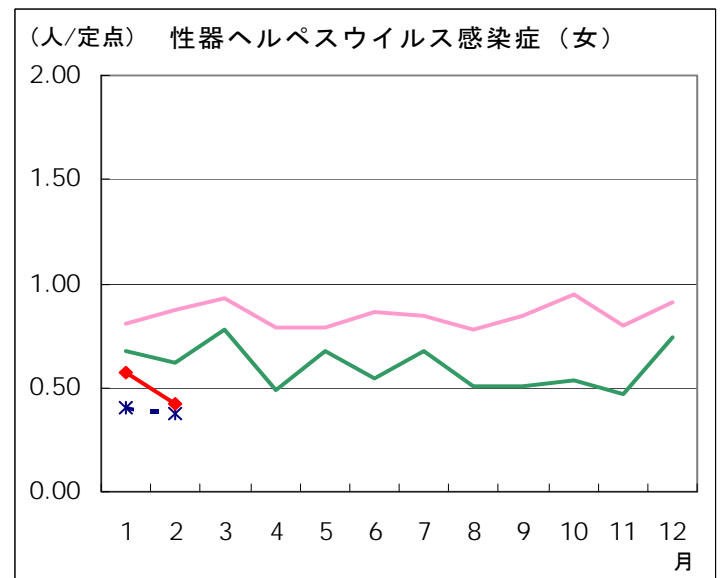
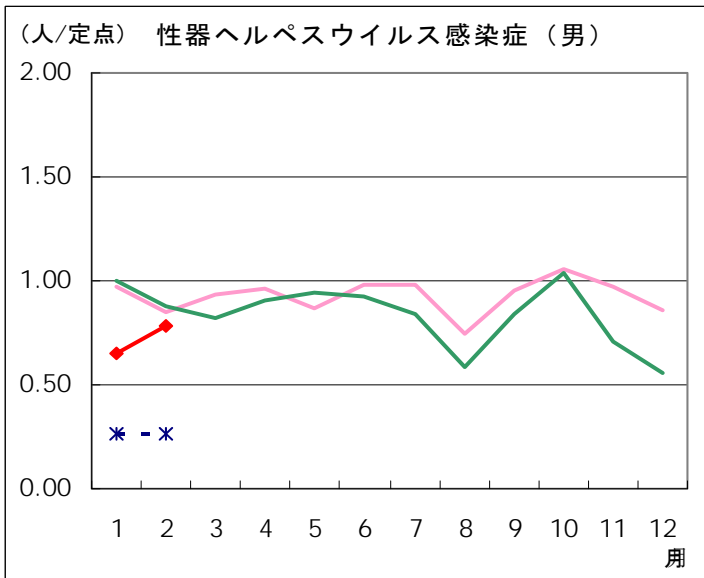
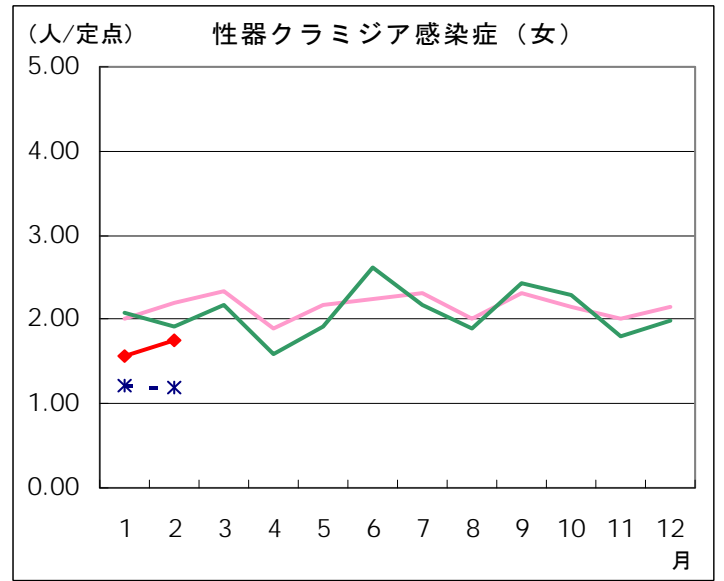
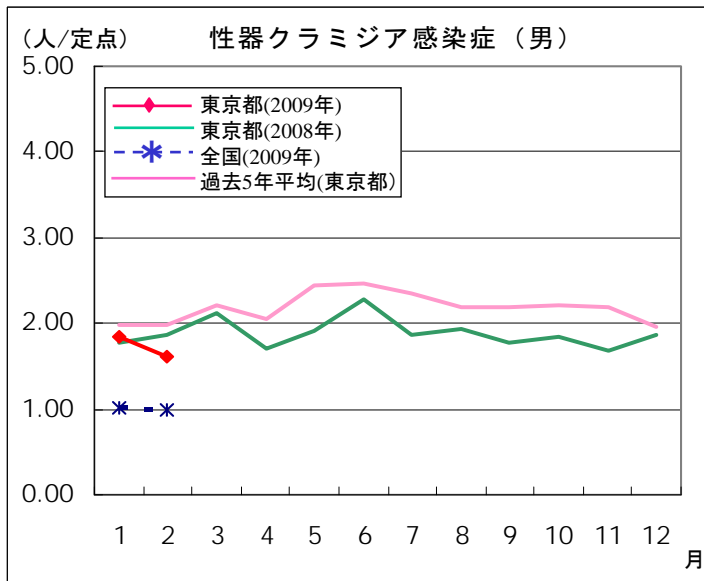
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2009年2月

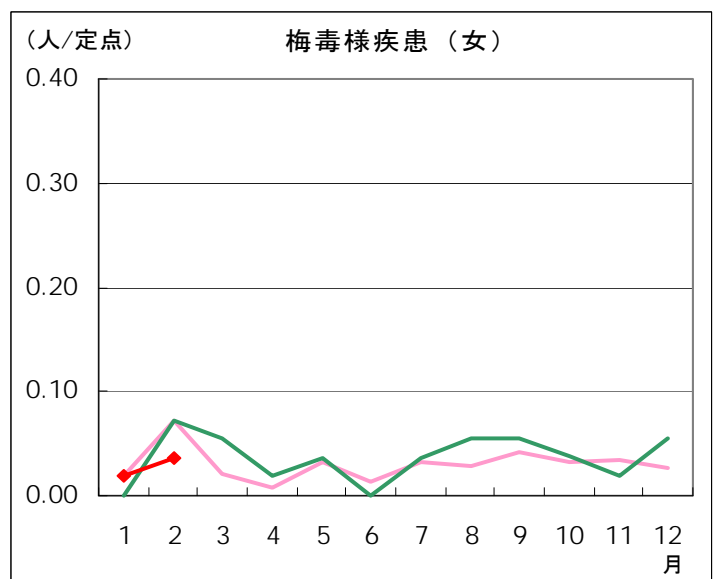
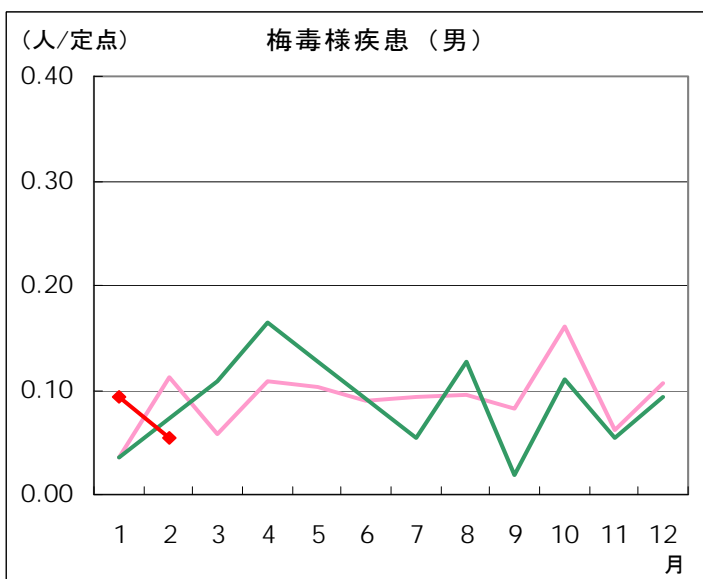
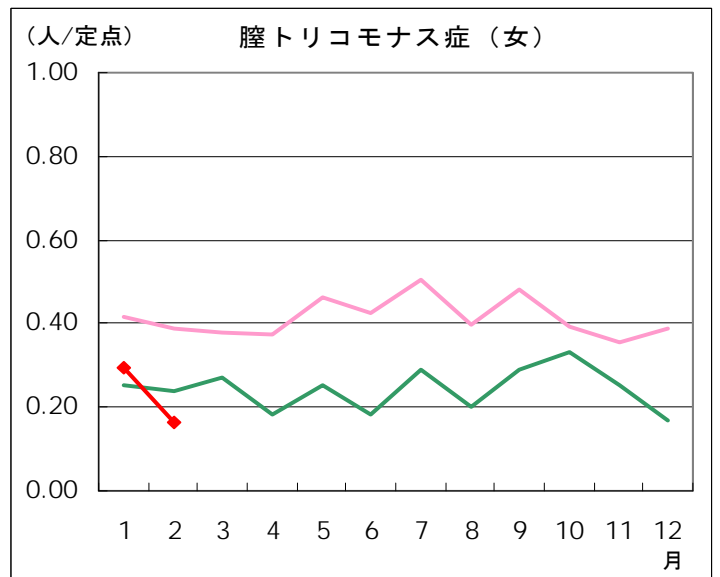
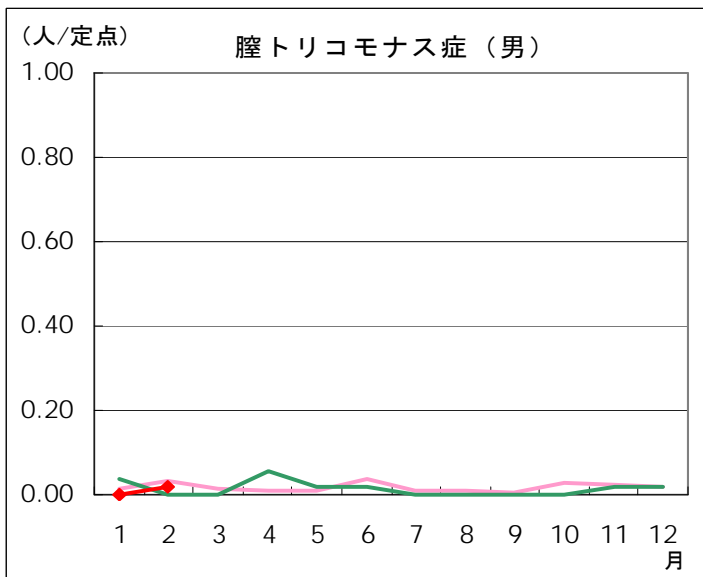
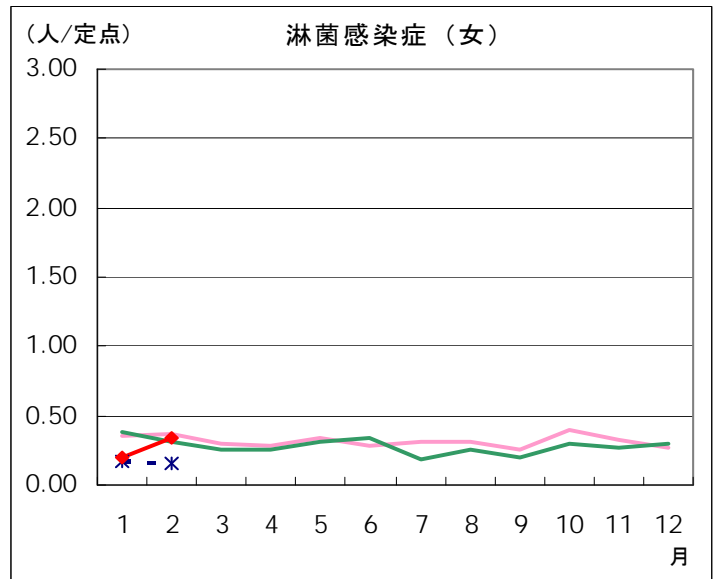
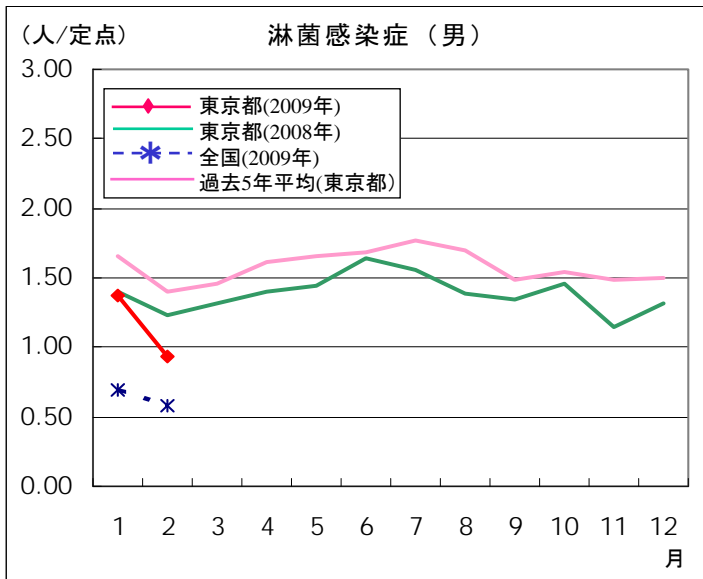
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	10	2	2	9		
中央区	3	3					
みなの	2	3	4	2	1	1	
新宿区	6	15	17	16	13		2
文京	1	1			2		
台東	3		1		1		
墨田区	2	2		3	1		
江東区	2	14	6		5		
品川区	1	2					
大田区	2						
渋谷区	5	4	5		1		
中野区	2	9	1		6		1
杉並	2	2			2		
池袋	3	15	5	6	6		
北区	1						
荒川区	1						
板橋区	2			1	3		
足立	2	2	1	2			
江戸川	2	3	1		1		
八王子市	4	1		2			
町田	1						
多摩立川	2	1					
多摩府中	3	2					
多摩小平	1						
合 計	55	89	43	34	51	1	3
定点当たり		1.62	0.78	0.62	0.93	0.02	0.05

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1					1
中央区	3	4	2	2	1		
みなの	2	8	1			1	
新宿区	6	6	4		6		1
文京	1						
台東	3	6	1		3	2	
墨田区	2	2					
江東区	2	3					
品川区	1						
大田区	2	3					
渋谷区	5	2	7				
中野区	2	3			2		
杉並	2	1					
池袋	3	11	3	3	3	2	
北区	1						
荒川区	1	2					
板橋区	2	5			1		
足立	2						
江戸川	2	12	1		1	4	
八王子市	4	7	1				
町田	1	2	2				
多摩立川	2	19			2		
多摩府中	3						
多摩小平	1		1				
合 計	55	97	23	5	19	9	2
定点当たり		1.76	0.42	0.09	0.35	0.16	0.04

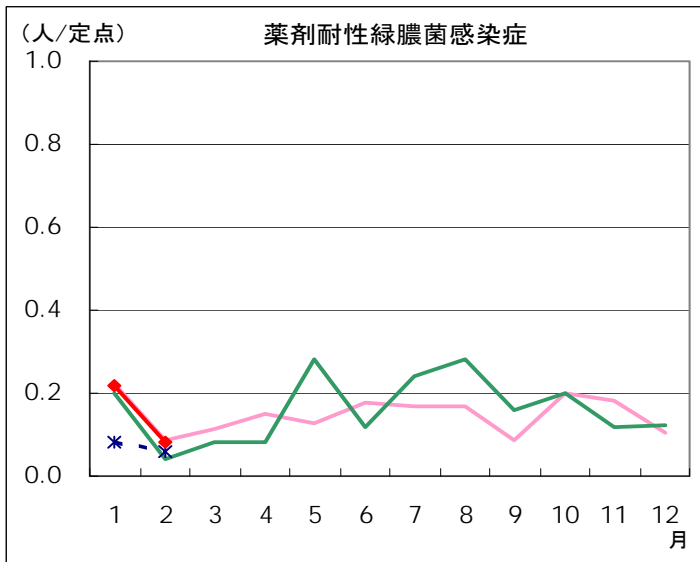
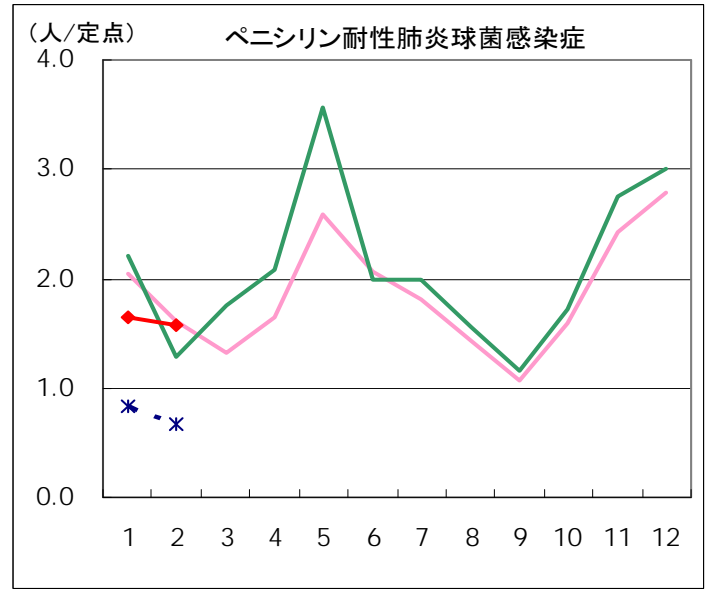
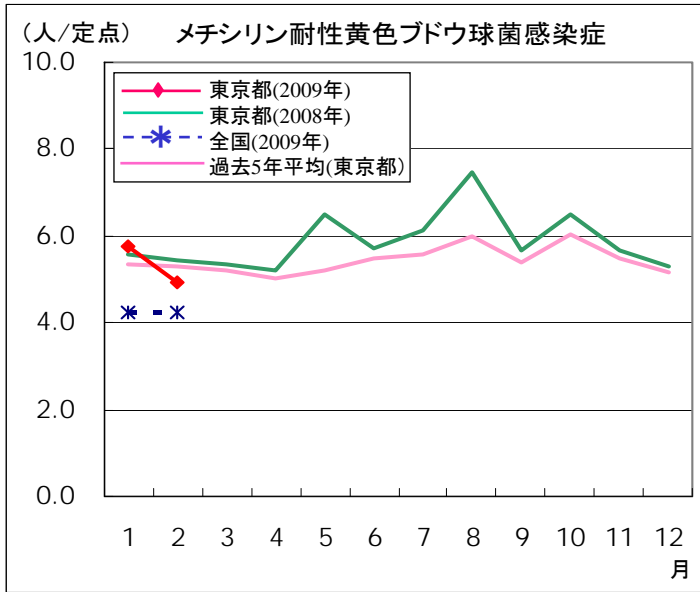
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2009年2月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
2/3	陰茎コンジローマ	51	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
2/4	性器ヘルペス	35	男	ヘルペス部位拭い	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
2/4	尿道炎	26	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
2/9	尿道炎	27	男	尿	クラミジア	
2/10	尖圭コンジローマ	61	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス6型	
2/10	尿道炎	38	男	尿	クラミジア	
2/10	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
2/16	尿道炎	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
2/17	陰茎ヘルペス	43	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
2/17	陰茎ヘルペス	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
2/17	尿道炎	38	男	尿	クラミジア	
2/18	陰茎ヘルペス	67	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
2/18	尿道炎	30	男	尿	クラミジア	
2/18	尿道炎	56	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
2/19	尿道炎	29	男	尿	クラミジア	
2/23	尿道炎	23	男	尿	淋菌	
2/23	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	